

事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

| | | | |
|--|-----------|---|------------|
| 講座番号 | C-01 | 講座名 | 「環境エネルギー塾」 |
| 記載日 | 2019/9/19 | 団体名・企業名 | 中部電力株式会社 |
| 〈講座全体の概要〉(300字程度) | | | |
| <p>普段なかなか見ることのできない、系統、火力、風力、原子力、水力の各発電所の施設見学し、それぞれの現場で働く者から話を聞き、現場でしか得られないことを体感します。施設見学の後は、座学を踏まえ、資源の少ない日本におけるエネルギーセキュリティ、環境への影響、経済性などの面でそれぞれ発電施設の特徴を比較し、多角的に環境問題・エネルギー問題について自ら考え、最後のグループディスカッション・発表を通じて同じ学生間で様々な意見を交わすことで、自分の考えを整理し、環境・エネルギー問題について主体的に考えることができる次世代層を育成する講座を目指しています。</p> | | | |
|  | |  | |
| 御前崎風力発電所（2日目）見学の様子 | | グループ発表（3日目）の様子 | |
| 〈企画・運営者の声（感想）〉(350字程度) | | | |
| <p>普段は入ることができない各発電所の見学を中心とし、現場の若手社員が案内役を務めるなど参加学生との触れ合いを重視し、質問をしやすい工夫をしました。受講者は、様々な電力現場で、説明者の声に熱心に耳を傾け、自分の目で見て感じたことを最後のグループワーク（ディスカッション・発表）で熱心に互いの意見を交わすことで理解を深めました。グループ発表や全体質疑では、学生間での活発な質疑応答がなされ、受講者のみならず質疑対応に参加していた社内の協力者からも学生らの深い学びについて、大変好評を得ることが出来ました。</p> | | | |
| 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度) | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・みんなとエネルギーの未来を議論することで、様々な意見があることを実感し、エネルギー問題の当事者としての意識をしっかりと持つことができた。 ・普段入れないような場所を見学して、そこで働く社員のみなさんから話を聞くことができ、本当に貴重な体験となり、とても勉強になった。 ・日本のエネルギー自給率と化石燃料を輸入に頼っていることなど、エネルギーと環境問題をはじめ中部電力の環境への取り組みを知ることができた。 | | | |

●団体紹介

| | | | |
|--|--|--------|---|
| 団体所在地 | 〒461-8680 名古屋市東区東新町1番地 | | |
| 連絡担当者 | 環境・地域共生室 宮木 | ウェブサイト | http://www.chuden.co.jp/ |
| TEL | 052-973-2111 | FAX | 052-973-3151 |
| E-mail | Miyaki.Ayumi@chuden.co.jp | 携帯電話 | 080-8034-6690 |
| 〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度) | | | |
| <p>当社は、くらしに欠かせないエネルギーをお届けする事業者として、地球環境に配慮した良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けするという「変わらぬ使命の完遂」に努めると同時に、時代の変化を見据えた「新たな価値の創出」に挑戦し続けることで、期待を超えるサービスを先駆けてお客さまへお届けする「一歩先を行く総合エネルギー企業」として、これからも地域社会の発展に貢献してまいります。</p> | | | |

●講座開催情報

| | | | | |
|-----|-----|--|------|------|
| 第一回 | 講座名 | 環境エネルギー塾 | | |
| | 講師名 | 中部電力(株)担当者 | 参加人数 | 36 名 |
| | 内容 | 【施設見学】 中央給電指令所・碧南火力発電所 (JERA) | | |
| 第二回 | 講座名 | 環境エネルギー塾 | | |
| | 講師名 | 中部電力(株)担当者 | 参加人数 | 29 名 |
| | 内容 | 【施設見学】 御前崎風力発電所・浜岡原子力発電所 | | |
| 第三回 | 講座名 | 環境エネルギー塾 | | |
| | 講師名 | 中部電力(株)担当者 | 参加人数 | 39 名 |
| | 内容 | 【施設見学】 川辺水力発電所 【座学】 中部電力の環境への取り組み・グループワーク (討議・発表) | | |